

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	20	馴染みの人や場所等、把握した情報を蓄積し、継続的に個別支援に活かすための仕組みを確立する必要がある。	把握した情報を最終的には、施設介護経過表(第7表)にまとめ、職員一人一人が目に行うことができるようにしておき、カンファレンス時等に活用して、個別支援に活かすようにする。	施設介護経過表(第7表)を活用するようにして、入居者様に関する把握した情報を記録していき、その蓄積した内容について職員で共有する。馴染みの人や場所の他にも、家族からの意向等の話があった場合も同じように記録していき、その場限りのものではなく、情報が蓄積していくようにする。	6ヶ月
2	26	ケアカンファレンスの議事録の中に家族の意向や、かかりつけ医、その他関係者からの意見を明記できていない。	家族の意向や、かかりつけ医等からの意見について日々記録し、カンファレンスの中で採り上げた内容については、その議事録にしっかりと記録するようにする。	話し合いの場で、家族の意向やかかりつけ医からの意見等を採り上げることはあるはずなので、そのことを記録に残すという意識をしっかりと持つようにする。特にフロアー長、計画作成担当者は、「これは家族の意向」、「これはかかりつけ医の意見」等と意識付けながら話すようにして、話し合いにメリハリを付けるようにする。	6ヶ月
3	52	各フロアーで入居者様が季節感を感じるじられるような工夫がもっと必要である。	各フロアーで飾り付けを工夫し、場合によっては写真やポスターでも構わないので、入居者様が季節感を感じて頂けるようにする。	フロアー長会議や、レクリエーション委員会の場を中心に季節感を感じて頂けるようなフロアー内の飾り付けについてしっかり話し合うようにする。入居者様にも参加して頂き、手作りの飾り付けができることが第一だが、難しい場合は写真やポスターでも構わないので、季節の流れが見て取れるようなフロアーの雰囲気作りに努める。	12ヶ月
4					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。